

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他(複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう
実施期間	平成23年度：平成23年10月1日～平成24年3月31日 平成24年度：平成24年4月1日～平成25年3月29日
受託金額	平成23年度決算額：1,346,400円 平成24年度決算額：3,362,867円
事業概要	※概要がわかるように100字～150字程度で簡潔にまとめてください。 人材雇用育成、データベース作成、鈴鹿市・亀山市への課題提起を柱に、地域の市民活動の活性化を目指し、交流を深め、ネットワーク形成を目指す。
受託内容	※内容とともに、支援のアウトプット(具体的な実施事項、数量、期間等)について記載してください。 団体が活動する場を提供し、団体間の交流を深めることでネットワークを築き、それらの団体の活動が活発になるように支援する。また、各団体を訪問、交流して団体情報を把握し、ネットワークに繋げるためのデータベースを作成する。 ■平成24年度に達成しようとする成果 鈴鹿市・亀山市市民活動データベースを作成し、そのプロセスのなかで亀山地域の中間支援を確立し、亀山市市民協働センターみらいの民営化提言を、鈴鹿地域の鈴鹿市市民活動センターの設立の必要性を提言する。
成果の達成状況	[成果の達成目標] ■平成23年度に達成しようとする成果 新規雇用人材育成を図り、当団体活動把握、ジャンルごとの中間支援団体を紹介し、自主的に訪問・交流が出来るようにする。またIT支援補助機会を与えてITリーダーとして自立できるようにする。その成果をもとに次年度のデータベース作成、亀山市・鈴鹿市への提言に結びつけることができる。 ■平成24年度に達成しようとする成果 鈴鹿市・亀山市市民活動データベースを作成し、そのプロセスのなかで亀山地域の中間支援を確立し、亀山市市民協働センターみらいの民営化提言を、鈴鹿地域の鈴鹿市市民活動センターの設立の必要性を提言する。 ※達成に向けて行った工夫 または未達成の原因及び講じた対応策を記載してください。 「成果の達成状況」 ・ 人材育成：平成23年11月、専従者1名新規雇用し事業を開始、中間支援団体での体験をしながら中間支援団体の理解を深め、他の中間支援組織を多数訪問することで交流が生まれ、データベース作成に結びつけることができた。「ぶどう通信」NO.140(平成25年1月1日発行)に「資源循環の基盤づくり事業をすすめて」の寄

稿文で鈴鹿・亀山地域の課題を具体的に把握したことを示しており、結びで“事業活動の継続の必要性と中間支援の存在意義を知った今、今後どうやって今の活動を継続して行くかが最大の課題となりつつあります。”と事業の課題を伝えている。

- ・ ネットワーク・交流会： データベース作成の目的の1つは、団体間交流であり、ネットワークの形成である。その方法として鈴鹿・亀山の市民活動交流会を企画した。亀山市民部市民相談協働室（きらめき亀山 21 管理）の協力を得て、平成 25 年 2 月 21 日（木）19:30～亀山市民協働センター「みらい」で開催した。呼びかけは夫々が地域を担当した。当日の呼びかけは添付チラシを用いた。準備打合せ会合の様子は添付「伊勢新聞」記事で紹介された。また「ぶどう通信」NO.142（平成 25 年 3 月 1 日発行）の寄稿文で当日の様子が紹介されており
“福祉や町づくり、行政、環境など様々な分野で活躍されている 23 名もの方々にご参加いただくことができ、地域別でも約半数の方が足を運んでいただく事ができました。”と紹介されており、“今後のきっかけになりましたね”との亀山市担当者の言葉が今回の交流会を表しています。 今後、環境のネットワーク（やすらぎくんネット主催夏の鈴鹿川体験・鈴鹿川流域の環境展）が鈴鹿・亀山の行政・企業・市民活動団体・学校など 32 の団体が継続活動しているようになるには、福祉、まちづくりなどジャンルごとの交流会の企画の必要があると思う。一方、ネットワーク形成では、鈴鹿市社会福祉協議会と定期意見交換会を開催しており、鈴鹿市ボランティア連絡協議会と「ボランティア団体と市民活動団体に対する認識の違い」を意見交換し共通認識をもつことができた、
- ・ データベース作成： データベースの作成について、登録団体を抱える中間支援組織と意見交換・協力依頼をおこなった。その結果得られた助言はデータの更新問題を解決する方法として夫々の web 情報とリンクを貼ることである。即ち夫々の中間支援組織は年 1 回登録団体の情報更新を行っており、リンクの場合その情報が当方データベースに反映され、当方で更新をしなくて良くなり、中間支援組織としても登録団体の了解が得られ易いことである。その助言に基づきデータベース「鈴鹿・亀山市民活動マップ」を作成しすずかのぶどう HP にアップした。
(HP アドレス <http://www.budou.gr.jp/database/index.html>)
- ・ 提言： 亀山市に対しては、中間支援団体の必要性和亀山市民協働センター「みらい」の運営についてであるが、亀山市の担当部署との意見交換で中間支援団体の必要性を充分認識しており方策を立てていることをお聞きした。当然市民協働センター「みらい」の市民による運営を視野にいれてのことである。
全く当方の意見と一致しているので実現への期待と必要なお手伝いがあれば協力を惜しまない旨をお伝えした。
鈴鹿市に対しては、市民活動センターの早期実現であるが、事業開始当時期待していた市所有地への複合施設建設計画は難しくなったことを知らされた。今年度の鈴鹿市 NPO 支援講座は昨年施行された「鈴鹿市まちづくり基本条例」を受けて「鈴鹿市まちづくり基本条例と市民活動」をテーマに講演会とテーブルトークを企画し開催した。このプロジェクト（鈴鹿市と共同）推進の過程で担当部署が 2 年以内の「市民活動センター」を具体化に向けた努力を知り、必要はお手伝いを惜しまない旨を伝え、期待することとした。

	平成23年度の成果物	平成24年度の成果物
	添付 あり <input checked="" type="checkbox"/> ・ なし 1～6, ぶどう通信 NO. 125～130 http://www.budou.gr.jp/budoureport/index.html	添付 あり <input checked="" type="checkbox"/> ・ なし 7～18, ぶどう通信 NO. 131～142 http://www.budou.gr.jp/budoureport/index.html 19, 鈴鹿・亀山交流会チラシ 20, 伊勢新聞記事写し 平成25年1月21日交流会打合せ 21, ぶどう通信トップページ写 (新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業活動記録) http://www.budou.gr.jp/budoureport/index.html 22, データベーストップページ写 (鈴鹿・亀山市民活動まっふ) http://www.budou.gr.jp/database/index.html)
	※成果物がインターネットで公開されている場合は当該ウェブページのURLを記載してください。但し、公開されている場合であっても現物の提出をお願いします。 ※番号は平成23年度から順に記載していただき、適宜増減してください。	
得られた成果及び自己評価	※支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成： 鈴鹿・亀山の中間組織との交流が深まり、情報交換が密になった。残念ながら継続雇用は難しくなったが、中間支援団体での経験が有益であったと信じている。 ・データベース作成： 作成したデータベースの過程で、いろいろな中間支援組織から沢山の助言・協力を得られた。またこれを基にして手始めに鈴鹿地域のリレーションシップを目的としたデータベースサイトを立ち上げ、その利用を勧めたうえで、中間支援組織間の連携を深める予定である。 ・ネットワーク： 鈴鹿市における鈴鹿市社会福祉協議会との定期意見交換会がボランティアと市民活動団体の協働に繋がっていくとおもわれる。また亀山市との交流会開催により、亀山市より定期交流会開催の提案がなされた。その意向を受けて定期的な相互交流会を企画している。 ・IT支援： IT相談・IT支援を重ねたことでスキルアップが図られた。タブレット・スマートフォンなどのメディアへの対応も含めて、新講座展開を企画中である。 ・提言： 鈴鹿市・亀山市の担当部署と充分意見交換をすることができ、かつ課題の認識が同じことが判った。亀山市の市民協働支援センターの民営化に向けて必要なアイデアなどの検討は、亀山市との相互交流会でもって取り組み、鈴鹿市の市民活動センターの設立については、リレーションシップを目的としたデータベースサイトをきっかけにして、鈴鹿市・自治会・NPO・ボランティアなどとの交流を深め、意見を集約し、早期実現に向けての論理的かつ物理的な障害を洗い出しこれを克服する必要がある。 	

	<p>「自己評価」 人材の継続雇用に至らなかったことが悔やまれるが他については概ね成果を得ることができた。</p>
評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に <input checked="" type="checkbox"/> を付けてください。)

2. その他参考となる資料の添付 あり ・ なし

(添付資料がインターネットで公開されている場合は当該ウェブページの URL を記載してください。但し、公開されている場合であっても現物の提出をお願いします。)

※行は適宜付け足して記入してください。